

「リタイアモラトリアム すくに退職しない団塊世代は何を考えるか」

村田裕之 著 (王子病院3F研修室)

リタイア・モラトリアム(退職猶予期間)という言葉をご存知ですか？

年金制度改革法(2004.6)により年金満額給付開始年齢が60歳より65歳に引き上げられました。それにつれ改正高齢者雇用安定法が施行され、定年延長や再雇用の道が完全ではありませんが聞かれました。

私共も子育て支援、介護支援制度と共に有能な職員が60歳以後も同じ職場で働きたい、会社中心生活から個人中心生活への転換、職場環境の継続的維持のために、定年後の安定雇用を制度化することを考えています。先のことで自分には関係ないと思っている人、身近に考えておられる人も、この本を通して自分のリタイアへの道を考えてはいかがですか。

理事長 市丸 喜一郎